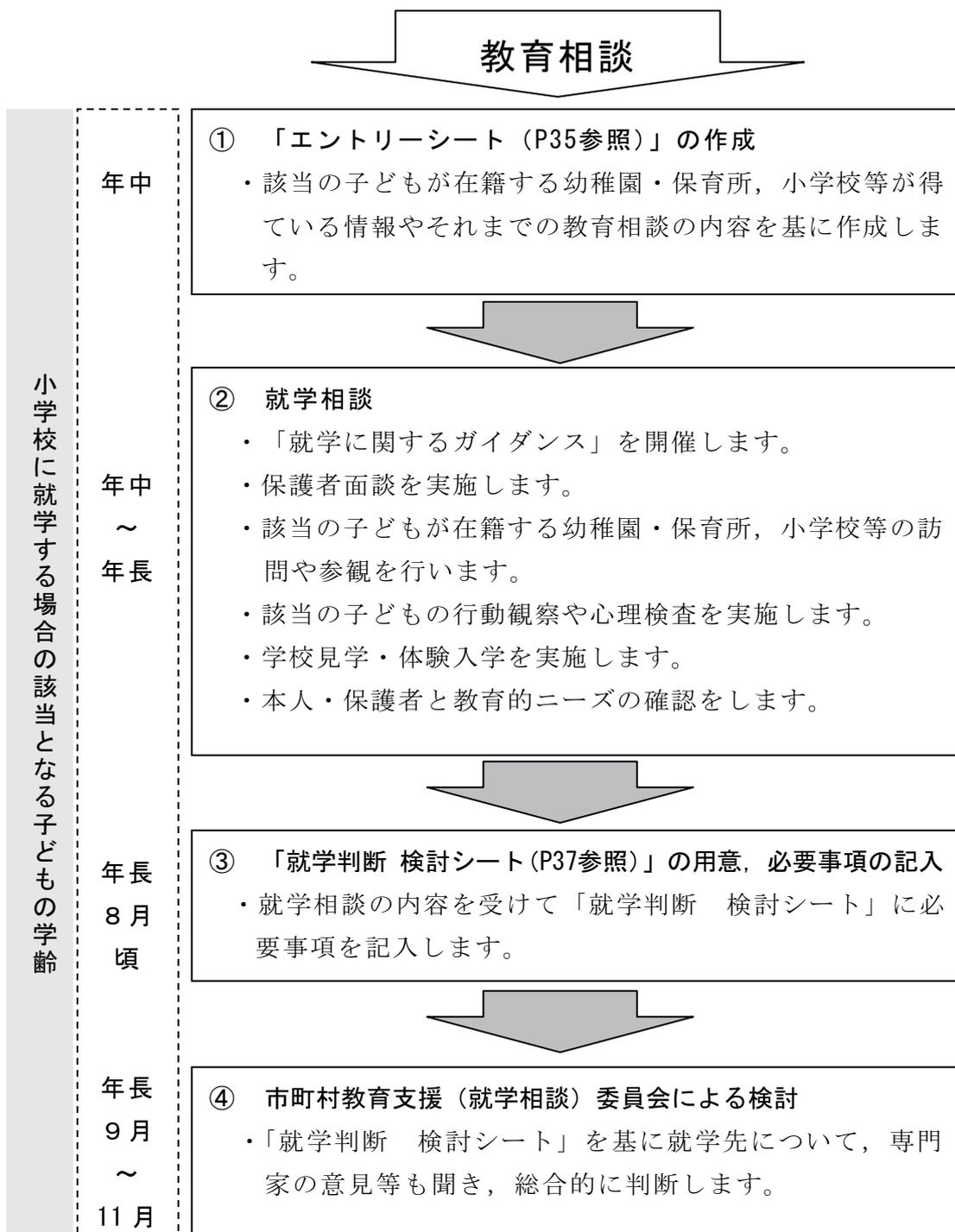


## 第3章 教育支援の実際

### 1 就学相談の概要

#### (1) 就学相談の流れ

実際の就学相談は以下の流れを参考にして進めてください。



年長  
11月  
～  
12月

⑤ 市町村教育委員会による最終決定

- ・市町村教育支援（就学相談）委員会の総合的判断を基に支援の内容について保護者と合意形成を図った上で、最終決定をします。
- ・「判断報告書（P38参照）」を就学先または在籍する幼稚園・保育所に送付します。

(2) 就学相談に関するシートについて

① 「エントリーシート」について

本人・保護者の伴走者として、早期から継続して教育相談を行っていく中で、保護者の気持ちに寄り添いながら就学に関する話題も少しずつ提供していきます。教育相談の話題の中心が就学になったところで、保護者の同意を得て作成し、所属長の了解の下、市町村教育支援（就学相談）委員会に提出します。

その後の就学相談のスケジュールを視野に入れると年中時（小学校に就学する場合）までに作成することが望ましいです。しかし、本人の状態や、地域の体制整備の状況、本人・保護者の心情等の変化によって、年長時に市町村教育支援（就学相談）委員会に申し込みをする場合もあるので、その場合にはできるだけ速やかに手続を進めます。

【作成時期】 市町村教育支援（就学相談）委員会に相談を申し込むとき

※ 小学校に就学する場合は、年中時が望ましい。

【作成者】 該当の子どもが在籍する幼稚園・保育所、小学校等の担当者

【提出先】 市町村教育委員会または市町村教育支援（就学相談）委員会

② 「就学判断 検討シート」について

市町村教育支援（就学相談）委員会で就学先を検討していく流れを図で表したシートです。「エントリーシート」に書かれている内容や、就学相談で話された内容を基に記入し、就学先を検討する上での資料とします。

シートの中にある「障がいの状態の判断」や「就学先（学びの場）の判断」等については、市町村教育支援（就学相談）委員会において専門家の意見を聞きながら総合的に判断するものです。事前の記入にあたっては、あくまで担当者の案ということで進めます。

【作成時期】市町村教育支援（就学相談）委員会の開催に合わせて

※ 小学校に就学する場合は、年長時の8月頃まで

【作成者】市町村教育支援（就学相談）委員会の相談員等

【提出先】市町村教育支援（就学相談）委員会

※「就学判断 検討シート」の活用については、「2 就学相談から就学判断へ（P42）」で詳しく説明します。

### ③ 「判断報告書」について

「エントリーシート」の内容や市町村教育支援（就学相談）委員会で検討された内容をまとめて記入します。特に「必要な支援・体制整備」については、市町村教育委員会の最終決定を受けて、学習場面を具体的に思い浮かべながら記入します。これが、就学先における「合理的配慮」の基になります。また、裏面には「合意形成の経過」の欄があり、ここには、どのような経緯をたどって保護者との合意形成が図られてきたのかを記載します。ここを見ることで就学先の担当者は、就学相談の経緯を確認するだけでなく、保護者や本人の考えや思いを推し量ることができます。

この「判断報告書」は、「個別の教育支援計画」の基となる情報が網羅されています。この報告書を活用したり、就学後に支援会議を開いて担当者同士で情報交換したりするなど、就学先に支援情報を引き継いでいくことが大切です。

【作成時期】市町村教育委員会の最終決定が出た後

※ 小学校に就学する場合は、年長時の12月頃まで

【作成者】市町村教育支援（就学相談）委員会の事務局等

【提出先】就学先の小中学校または在籍する幼稚園・保育所，小中学校

※ 認定特別支援学校就学者については県教育委員会

〇〇市教育支援委員会 エントリーシート

ふりがな		生年月日 (学年)	在籍園 在籍校	記入者
名前(性別)				
保護者名(続柄)		現住所		
連絡先		学区校名		

本人の 状況	生育歴上の 特記事項	所持手帳		
		療育手帳	無 有 (A1 A2 B1 B2)	
	交付年月日			
	障がいの 状態 診断名 検査結果		身体障害者 手帳	無 有 (種 級)
交付年月日				
		精神障害者 保健福祉手帳	無 有 (1級 2級 3級)	
			交付年月日	

主 訴	
-----	--

実 態 把 握	生活 習慣	食事	全面介助が 必要	大部分介助 が必要	一部介助 が必要	大体一人 でできる	一人で できる	主訴にかかわる実態把握 (学習面, コミュニケーション等)
		排泄	全面介助が 必要	大部分介助 が必要	一部介助 が必要	大体一人 でできる	一人で できる	
		衣服の 着脱	全面介助が 必要	大部分介助 が必要	一部介助 が必要	大体一人 でできる	一人で できる	
	行 動 面	指示理解	理解が難しい	手渡しや手を 添えると反応	身振りを添え ると反応	簡単な指示 で反応	言葉で理解 し反応	
		言語	発声が見ら れない	発音のみ見 られる	数語の単語 が言える	二語文, 三 語文で話す	会話ができる	
		対人関係	本人からは関 わりが見られ ない	特定の人には 関わることが できる	数人の特定 の人と成立	誰とでも ほぼ成立	誰とでも 成立	
		注意集中	集中して取り 組むことは難 しい	興味があるこ とには集中す る	与えられた課 題には集中 する	気が散ること もあるが, ほ ぼ取り組む	何事にも集 中して取り組 む	長所・得意なこと
	集団参加	参加すること が困難	指示・誘いで 参加する	特定の小集 団には参加 する	様々な集団 にほぼ参加 する	様々な集団 に自発的に 参加する		
	運 動 面	運動機能	自力で移動・ 運動できない	補助具を使 っても介助 が必要	補助具を使 い動くこと ができる	大体の動き はできる	自由に動くこ とができる	
		身体認知	前後, 左右な どの理解が 苦手	動きがごこ ちない, よく転 ぶ	スキップ, ケ ンケンなどが 苦手	細かい作業 (折り紙等) が苦手	ボール遊び が苦手(距離 感・力加減)	

本人・保護者 の意向	
---------------	--

育ちへの願い	
--------	--

必要 な 支 援 ・ 体 制 整 備	生活習慣	
	行動面	
	運動面	
	学習面	

〇〇市教育支援委員会 エントリーシート(記入例)

第2部

ふりがな		生年月日 (学年)		在籍園 在籍校			
名前(性別)				作成者			
保護者名(続柄)		現住所					
連絡先	このシートは、多くの人が見る資料となるため、保護者と共通理解した部分を記入します。			該当の子どもが在籍している幼稚園・保育所、小学校等で、その子のことを最もよく知る担当者等が作成します。			
本人の状況	生育歴上の特記事項				療育手帳	交付年月日	
	障がいの状態 診断名 検査結果	言語発達の遅れが認められる。			身体障害者手帳	無 有 (種 級)	
						交付年月日	
					精神障害者 保健福祉手帳	無 有 (1級 2級 3級)	
					交付年月日		

主 訴	いろいろな手段で自分の思いや要求を周りの人に伝えられるようになってほしい。
-----	---------------------------------------

生活習慣	このリストは、段階に色をつける、○をつけるなどして実態を表します。 ※ 身体認知のみ、段階ではなく項目を示しているため、複数に○となる場合があります。						主訴にかかわる実態把握 (学習面、コミュニケーション等)
	着脱	必要	か必要	か必要	できる	できる	
	指示理解	理解が難しい	手渡しや手添えると反応	振りを添えると反応	簡単な指示で反応	言葉で理解し反応	
	言語	発声が見られない	発音のみ見られる	数語の単語が言える	二語文、三語文で話す	会話ができる	
	対人関係	本人からは関わりが見られない	特定の人には関わりができる	数人の特定の人と成立	誰とでもほぼ成立	誰とでも成立	
	注意集中	集中して取り組むことは難しい	興味があることには集中する	与えられた課題には集中する	気が散ることもあるが、ほぼ取り組む	何事にも集中して取り組む	
	集団参加	参加することが困難	指示・誘いで参加する	特定の小集団には参加する	様々な集団にほぼ参加する	様々な集団に自発的に参加する	
運動面	運動機能	自力で移動・運動できない	補助具を使っても介助が必要	補助具を使い動くことができる	大体の動きはできる	自由に動くことができる	
	身体認知	前後、左右などの理解が苦手	動きがぎこちない、よく転ぶ	スキップ、ケンケンなどが苦手	細かい作業(折り紙等)が苦手	ボール遊びが苦手(距離感・力加減)	
実態把握	主訴にかかわる部分の実態、左の段階リストの実態を補足する現在の状況を記入します。 ※ 困っていることやできないことのみを記入するのではなく、その子らしさやよさを把握することが重要です。						

本人・保護者の意向	・友だちとかかわりながら、みんなと一緒に学校生活を送ってほしい。
-----------	----------------------------------

育ちへの願い	・友だちに自分からかかわりがもてるようになってほしい。 ・笑顔でやりとりできる人を増やしてほしい。
--------	--

必要な支援・体制整備	生活習慣	・具体物(靴、衣服、エプロンなど)を示しながら、活動を言葉で端的に伝える。
	行動面	・日常的な活動の中で、身振りや「どうぞ、ちょうだい」などの声を掛けることで、物をやりとりする場面を設定する。 ・大人とのやりとりから、少しずつ友だちと物をやりとりする場面を増やしていく。
	運動面	
	学習面	現在行っている支援で有効な支援やその子らしさやよさを生かしたその子ができるための条件や状況を盛り込み記入します。

# 就学判断 検討シート

本人が困っていること
------------

本人	
保護者	

諸検査の結果・考察

添付資料

障がいの状態の判断		障がいの程度の判断	
① 障がいの区分・種類の判断	22条の3 該当	756号該当	通常の学級
		特別支援学級	通級による指導
視覚障害者			
聴覚障害者			
知的障害者			
肢体不自由者			
病弱者			
言語障害者			
自閉症者			
情緒障害者			
学習障害者			
注意欠陥多動性障害者			

長所

その子らしさ

行動面・コミュニケーション等

将来の自立と社会参加に向けて(長期的な目標)

今の生活の充実に向けて(短期的な目標)

③ 教育目標の設定

幼児児童生徒氏名(性別)  
ふりがな

( )

生年月日(学年)

年 月 日生 ( )

④ 必要な支援・環境面の配慮	⑤ 就学先(学びの場)候補の選定		⑦ 就学先(学びの場)の判断	
	⑥ 支援提供可能性(合理的配慮)の検討			

〇〇市教育支援委員会等 判断報告書

ふりがな		生年月日		在籍園	
名前(性別)		(学年)		在籍校	
保護者名(続柄)		現住所			
連絡先		学区校名			

本人の状況	生育歴上の特記事項	所持手帳			
		療育手帳	無 有 (A1 A2 B1 B2)		
	交付年月日				
	障がいの状態 診断名 検査結果	身体障害者手帳	無 有 (種 級)		
交付年月日					
		精神障害者 保健福祉手帳	無 有 (1級 2級 3級)		
			交付年月日		

障がいの状態	22条の3該当	756号通知(特別支援学級)該当	756号通知(通級による指導)該当
	<input type="checkbox"/> 視覚障害者 <input type="checkbox"/> 聴覚障害者 <input type="checkbox"/> 知的障害者 <input type="checkbox"/> 肢体不自由者 <input type="checkbox"/> 病弱者 <input type="checkbox"/> 弱視者 <input type="checkbox"/> 難聴者 ※ 複数可 <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 知的障害者 <input type="checkbox"/> 肢体不自由者 <input type="checkbox"/> 病弱者及び身体虚弱者 <input type="checkbox"/> 弱視者 <input type="checkbox"/> 難聴者 <input type="checkbox"/> 言語障害者 <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障害者 <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 言語障害者 <input type="checkbox"/> 自閉症者 <input type="checkbox"/> 情緒障害者 <input type="checkbox"/> 弱視者 <input type="checkbox"/> 難聴者 <input type="checkbox"/> 学習障害者 <input type="checkbox"/> 注意欠陥多動性障害者 <input type="checkbox"/> 肢体不自由者, 病弱者及び身体虚弱者 <input type="checkbox"/> 非該当

本人・保護者の意向	
-----------	--

教育目標	
------	--

必要な支援・体制整備	生活習慣			合意形成の状況
	行動面			
	運動面			
	学習面			

総合的判断	就学先(学びの場)	
	配慮事項	

第2部

名前(性別)		生年月日		在籍園・校	
--------	--	------	--	-------	--

実態把握	生活習慣		長 所
	行動面		
	運動面		
	学習面		

合意形成の経過	月 日		場 所	
	参加者			
	検討内容			合意された合理的配慮
	月 日		場 所	
	参加者			
	検討内容			合意された合理的配慮
	月 日		場 所	
	参加者			
	検討内容			合意された合理的配慮
	月 日		場 所	
	参加者			
	検討内容			合意された合理的配慮

専門家チーム等関係機関		名 称	連絡先	担当者	主な支援内容
	教育				
	医療				
	福祉				
	保健				
	その他				

〇〇市教育支援委員会等 判断報告書(記入例)

第2部

ふりがな	このシートは、多くの人が見る資料となるため、保護者と共通理解した部分を記入します。 エントリー以降、教育相談を進めていく中で、行った検査があれば、保護者の承諾の下、記載します。 行ったすべての検査の結果を記載するのではなく、本人の状態を端的に表しているものに絞って記載します。	在籍園	〇〇市立〇〇小学校
名前(性別)		在籍校	
保護者名(総称)			
連絡先			

本人の状況	生育歴・特記事項	所持手帳
	障がいの状態 診断名 検査結果	療育手帳
	知的発達に遅れと偏りが認められる WISC-IV (平成〇年〇月〇日◇病院実施) (全検査IQ:〇〇 言語理解:〇〇 知覚推理:〇〇 ワーキングメモリー:〇〇 処理速度:〇〇) 広汎性発達障害 (平成〇年〇月〇日◇病院診断)	無 (有) (A1 A2 B1 (B2)) 交付年月日 平成〇年〇月〇日
		身体障害者 (無) 有 (種 級)

就学判断検討シートの「① 障がいの区分・種類の判断」と「② 障がいの程度の判断」の項目と同じです。

障がいの状態	22条の3該当	756号通知(特別支援学級)該当	756号通知(通級による指導)該当
	<input type="checkbox"/> 視覚障害者 <input type="checkbox"/> 知的障害者 <input type="checkbox"/> 病弱者 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 聴覚障害者 <input type="checkbox"/> 肢体不自由者 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害者 <input type="checkbox"/> 病弱者及び身体虚弱者 <input type="checkbox"/> 弱視者 <input type="checkbox"/> 言語障害者 <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障害者 <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 言語障害者 <input type="checkbox"/> 情緒障害者 <input type="checkbox"/> 難聴者 <input type="checkbox"/> 注意欠陥多動性障害者 <input type="checkbox"/> 肢体不自由者、病弱者及び身体虚弱者 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

本人・保護者の意向	本人：パソコンを使ったゲームの仕事がしたい。 保護者：好きな仕事をして1人で生活して行ってほしい。
-----------	--

就学判断検討シートの「③ 教育目標の設定」の項目と同じです。

教育目標	グループ活動の中で自分の思いや考えをその場に合った話し方でグループのメンバーに伝える。
------	---

必要な支援・体制整備	生活習慣	給食の時間は、職員と1対1になれる場所を用意し、そこで保護者が用意した弁当を食べる。	△	合意形成の状況
	行動面	いろいろな場面において、相手にどのような態度でどのような言葉を掛けたらよいのか、体験を通して学ぶ機会を用意する。 また、その時、相手はどのような気持ちだったのか、振り返って学習できる場を設ける。	○	
	運動面	個別に図絵を使ってゲームのルールや進め方の確認をする機会を設ける。 自信をもってできるようにするまで、1人で練習する時間を設ける。	○	

就学判断検討シートの「④ 必要な支援・環境面の配慮」の項目から関連性の強いものを選んで記入します。「生活習慣」「行動面」「運動面」「学習面」に当てはまるものがなければ、項目の名称を変更しても構いません。

支援の提供について、保護者との合意形成の状況を◎○△×で記入します。

総合的判断	就学先(学びの場)	特別支援学級(知的障害)に在籍し、支援を受けること。
	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>原学級との「交流及び共同学習」を本人の実態に合わせて定期的に行い、集団の中で人とかかわる機会を確保するとともに、周りから認められる場面を設定すること。</li> <li>知的発達の遅れは軽度であり、本人の成長や発達の段階、学校の体制整備の状況によって、教育課程を変更する可能性も考えられる。個別の教育支援計画を基にした「学びの場」の柔軟な見直しを定期的に行うこと。</li> </ul> <p>就学にかかわって、必要な配慮事項を記入します。 ※ 特に総合的判断によって就学基準と異なる教育対応を行うことになった児童生徒については、就学後の対応について明記します。</p>

名前(性別)	生年月日	在籍園・校
--------	------	-------

実態把握	生活習慣	偏食がある。牛乳とご飯、豆類が特に苦手。牛乳については粉末のココアなどを混ぜて味を変えると飲めるようになってきた。ご飯についても、ふりかけなどで味を付けると食べられる。	長所 ・人（特に大人）とかかわることが大好きで、自分から積極的に話しかける。 ・初めてのことで、興味をもてると自分からチャレンジしようとする傾向が強い。
	行動面	大人に話しかけることが大好き。話す相手ごとに話題が決まっており、その相手が視界に入ると、駆け寄り、決まった話題を話しかける。日課についてのこだわりが強く、急な時間割の変更があると精神的に不安定になることがある。帰りの会で時間割の確認を自分からすることが多い。	
	運動面	集団ゲームでは、勝ち負けに対するこだわりが強く、勝つと人一倍うれしそうに表情を見せるが、負けると精神的に不安定になる様子が見られる。事前に1人で練習する機会を設け、自信がもてるようになるまで取り組むと、自分から集団の中に入ってプレーすることができる。	
	学習面	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エントリーシートの実態把握の表を文書にしたものです。就学相談中に変化があれば、そのことも含めて記入します。エントリーシートと同様にその子らしさやよさを把握し、肯定的に記入します。</p> </div>	

合意形成の経過	月日	平成 年 月 日	場所	〇〇市立〇〇小学校
	参加者	保護者、〇〇小担任、〇〇小コーディネーター、〇〇市相談員		
	検討内容		合意された合理的配慮	
	【就学に関するガイダンス】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談の流れについて説明</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室についての説明</li> <li>・〇〇中学校特別支援学級の見学について</li> </ul>			
	月日	平成 年 月 日	場所	〇〇市立〇〇中学校
	参加者	保護者、〇〇小担任、〇〇中コーディネーター、〇〇中特別支援学級担任、〇〇市相談員		
	検討内容		合意された合理的配慮	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇中特別支援学級の生活単元学習の様子を見学</li> <li>・見学の後、懇談会を行い、特別支援学級の担任より、生活単元学習や学級の日課について説明</li> <li>・◇◇中学校の見学について</li> </ul>			
	月日		場所	
参加者				
検討内容				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>就学に関するガイダンスや学校見学、体験入学等、就学に関するガイダンス以降の主だった就学相談の内容を記入します。</p> </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校見学や体験入学をした際は、そこでどのような支援が受けられるのかを具体的に説明してもらい、記入します。</p> <p>※ 見学先等の担当者は、該当の子どもについて十分分かっているわけではないので、1回ですべてを決めるのではなく、何回か繰り返し話し合う機会をもって支援の内容を決め出していくことが大切です。</p> </div>				
月日		場所		
参加者				
検討内容				

専門家チーム等関係機関	名称	連絡先	担当者	主な支援内容
	教育	〇〇市立〇〇小学校	0123-45-6789	□□ □□ 教育相談、進路相談
	医療	◇◇病院	0123-45-6790	▽▽ ▽▽ 作業療法（月1回）
	福祉	△△支援センター	0123-45-6791	◎◎ ◎◎ 放課後支援（週4日）
	保健	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>個別の教育支援計画につながる部分です。連絡先と担当者を明記し、支援をしっかりとつなげていきましょう。</p> </div>		
その他				